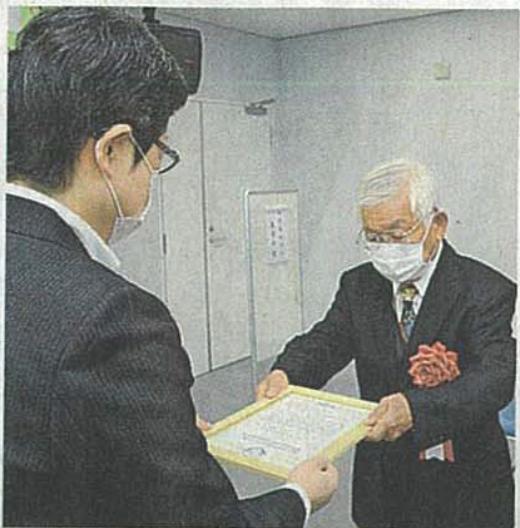


もにす認定に出雲・壽光会

中国地方初

高い障害者雇用率評価



認定書を受け取る壽光会の馬庭稔理事長（右）＝松江市向島町、島根労働局

障害者雇用で優れた取り組みを認定する厚生労働省の「もにす認定制度」で、社会福祉法人壽光会（出雲市湖陵町）が中国地方5県で初めて選ばれた。障害者雇用率が高水準で、出雲養護学校との連携やキャリアアップ支援などが評価された。

率は法定の2・2%を大きく上回る5・69%で、2012年以降、出雲養護学校から4人を採用しているほか、年1～3人の現場実習生を受け入れている。

キャリアアップは働きぶりや適性を見極めて積極的

に仕事の裁量を広げ、より高い能力が求められる介護補助などへの転換を実施。

新入職員の定着のため、先輩が後輩の指導役となる

同法人は8人の障害者が就労し、介護補助、調理補助、環境整備などの業務に従事している。障害者雇用

た。

「エルダー制度」も導入し

てある。松江市向島町の島根労働局でこのほど認定式があり、馬庭稔理事長（77）は「障害者雇用に取り組んでいる」という特別な意識はない。一人でも成長してくれれば

ている。

「うれしい」と話した。

同制度は4月に創設され、中小事業者が対象。認定マークを使用できるほか、日本政策金融金庫の低利融資が受けられるメリットがある。（藤本ちあき）

令和2年12月18日

山陰中央新報

（掲載許可済み）